

科目名	理学療法基礎評価学Ⅰ演習	担当教員	隈元 庸夫※ 小林 巧※ ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	--------------	------	-------------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻	専門科目	選択	2年次	前期	1単位	演習
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR21E	②					

科目概要	「理学療法基礎評価学Ⅰ」で学習したことを踏まえ、四肢・体幹全ての関節の関節可動域測定および徒手筋力検査法に基づく筋力測定の評価技術を身に付けることを目的とする。具体的には、教員によるデモンストレーション、学生同士による演習方式で実施し、「理学療法基礎評価学Ⅰ」で学んだ全ての関節可動域測定および徒手筋力検査法について適切かつ正確な測定が出来るように、実践を通じた学習を行い、臨床の現場で利用できる測定技術の基礎を身に付ける。
学習目標	① 評価の過程および全体の流れを理解することができる。 ② 関節可動域測定・徒手筋力測定を学生同士で実践することができる。 ③ 関節可動域の制限因子、筋力低下の要因を理解することができる。 ④ 関節可動域および筋力とADLの関連を理解することができる。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	関節可動域1	股関節の関節可動域測定	股関節の可動域測定が実践できる。	小林
2	関節可動域2	膝関節の関節可動域測定	膝関節の可動域測定が実践できる。	小林
3	関節可動域3	足関節の関節可動域測定	足関節の可動域測定が実践できる。	小林
4	関節可動域4	肩関節の関節可動域測定	肩関節の可動域測定が実践できる。	隈元
5	関節可動域5	肘・前腕・手関節の関節可動域測定	肘・前腕・手関節の可動域測定が実践できる。	隈元
6	関節可動域6	肩甲帯・頸部の関節可動域測定	肩甲帯・頸部の可動域測定が実践できる。	隈元
7	関節可動域7	体幹の関節可動域測定	体幹の可動域測定が実践できる。	小林
8	徒手筋力測定1	股関節の徒手筋力測定	股関節の徒手筋力測定が実践できる。	隈元
9	徒手筋力測定2	膝関節の徒手筋力測定	膝関節の徒手筋力測定が実践できる。	隈元
10	徒手筋力測定3	足関節の徒手筋力測定	足関節の徒手筋力測定が実践できる。	隈元
11	徒手筋力測定4	肩甲帯の徒手筋力測定	肩甲帯の徒手筋力測定が実践できる。	小林
12	徒手筋力測定5	肩関節の徒手筋力測定	肩関節の徒手筋力測定が実践できる。	小林
13	徒手筋力測定6	肘・手関節の徒手筋力測定	肘・手関節の徒手筋力測定が実践できる。	小林
14	徒手筋力測定7	頸部の徒手筋力測定	頸部の徒手筋力測定が実践できる。	小林

15	徒手筋力測定 8	体幹の徒手筋力測定	体幹の徒手筋力測定が実践できる。	隈元
評価方法		筆記試験 50%、実技試験 50%		
課題に対するフィードバック		1 講義中・講義終了後に質問を受け、回答する。 2 定期試験の解説は、オフィスアワーの時間帯で対応する。		
教科図書		隈元庸夫編集『臨床 ROM』ヒューマンプレス、2017年 津山直一・中村耕三（訳）『新・徒手筋力検査法 第10版』協同医書出版社、2020年		
参考図書		松澤正、江口勝彦・著『理学療法評価学 改訂第6版』金原出版、2018年 奈良勲、内山靖・著『理学療法検査・測定ガイド 第2版』文光堂、2011年 伊藤俊一・監『MMT（頭部・頸部・上肢）第2版』三輪書店、2016年 伊藤俊一・監『MMT（体幹・下肢）第2版』三輪書店、2016年		
学習の準備		1 （予習）事前に教科書の該当箇所を熟読しておくこと（15分） 2 （復習）授業で学んだ手技について復習すること（30分）		
オフィスアワー		月曜日 13:00～14:30、その他在室時はいつでも可能		
担当教員欄に※印を付した教員の 実務経験		隈元庸夫・小林巧は、大学病院や民間病院で関節可動域測定・筋力測定における理学療法の実務経験を有しており、その経験を活かしてより実践的な指導をすることができる。		